

2016年5月1日 発行 (VOL.153)

# みんなの広場NEWS



ちょうふくん

〒182-0026 調布市小島町2-33-1 文化会館たづくり 11 階  
生涯学習交流推進課 生涯学習情報コーナー TEL042-441-6155

みんなの広場で、西雅会（せいがかい）の「水墨画展」を開催します。

開催期間 5月11日（水）～17日（火）

開催時間 午前9時～午後9時30分（初日は正午から。最終日午後3時まで）

## ◎西雅会の活動概要

水墨画を描く事を趣味として、基礎から学びたい希望者のグループです。西部公民館の開館と同時に発足し、当初は日本画の教室でした。現在の会員数は10名（男性6、女性4）です。皆で市民文化祭への参加や文化会館たづくり等での展示発表をしています。指導は全国大会・都の大会などで数多くの賞を受け活躍している川崎孝一さんです。年に何回もお花見や飲み会などを行い、仲良く勉強しています。



活動場所：西部公民館 活動日時：水曜日午前 会費：月2000円

「お世話になりました」

生涯学習交流推進課主任 鈴木由紀夫

このたび、3月31日付けで40数年お世話になった調布市役所を退職し、4月1日から東京都11市競輪事業組合の嘱託員として「ラ・ピスタ新橋」に勤務しています。

生涯学習交流推進課勤務の折には何かとお世話になり、楽しい思い出をもつことができ、本当にありがとうございました。新しい仕事に転じ、今までとは違う苦勞も多いのですが、皆さま方のサークル活動のバイタリティをもって、新しい任務に専心努力する所存です。

「よろしくをお願いします」

生涯学習交流推進課主任 山野希実江

4月1日、定年退職後3年間勤めた会計課から異動してまいりました。現役時代の半分は生涯学習など教育に関する業務をする中で、講演会や各種講座を企画してきましたので、時には経験が役立つはずと思っています。

毎日、市民の方々が身軽に“みんなの広場”を訪れて、熱心に議論や勉強会、手芸や創作活動をされています。ステキなお仲間が出来上がった様子が伝わってきます。

これから新たに広場を利用される団体との出会いも楽しみです。

日々、新しい刺激を受けて元気が湧いています。どうぞよろしくをお願いします。

## 「四季歩会」で一緒に山を歩きませんか

四季歩会（しきほかい）は、今年創立40周年を迎え、現在会員は55名（男性24、女性31）で、四季を通じて山野を歩き自然に親しんでいます。登山やハイキングのテーマも、お月見山行・景信山餅つき山行・忘年山行など季節によって様々で、「安全で楽しい登山」がモットーです。山行は、土・日曜日の日帰りが多く、経験者は勿論、初心者の方も歓迎します。

例会：毎月第3水曜日（東部公民館） 会費：年3000円（ほかに保険料が必要です）



雲取山（2017m）への自主山行の報告記をご紹介します。（会報「四季歩」No.419より）

〈平成28年2月21日・22日。参加者5名。下釜正利 記〉

朝霧の中に霞む奥多摩湖畔・鴨沢でバスを降りた。七ツ石、石尾根を経て雲取山頂を目指す「登り尾根」の出発点だ。出発準備を急ぐうちに霧は晴れ、青空が広がってきた。風もない。絶好の山日和だ。

杉林の中に続く幅広の登山道の勾配は緩く、飽きるほど長かった。廃屋、水場を過ぎた辺りで昼食を済ませ、間もなく登り尾根の背・堂所に着いた。さすがに勾配がきつくなる。急斜面に心細い道、沢には木橋、山深い光景が広がる。

ブナ坂に着くと広々とした驚きの防火帯が石尾根上を奥多摩小屋近くまで続いている。この防火帯に沿って登っていく。標高はすでに1600mを越えた。それでも雪は少ないが、念のためアイゼンを装着。左手にノコギリ歯のようなピークを持つ飛龍山、その左奥には富士山が顔を見せている。今回のルート最大の急登、ヨモギノ頭と小雲取山のジグザグ道を何とか登り切った。雲取山頂はもう近い。ただ、既に午後4時を回っていた。暗くなる前に雲取山荘に着けず、山荘側に迷惑をかけてしまった。

翌日も天気にも恵まれた。雲取山頂から眺める奥多摩、秩父の山々が雲の間から射す朝日に輝いている。遠くに富士も霞んで見えた。三条ダルミまでは雪道を快調に下ったが、その後の急斜面のトラバース道は肩幅ほどしかなく、一部崩落もしていた。足下は大絶壁、転べば命に関わる。緊張の時間が続く。谷の下から川のせせらぎが聞こえ、三条小屋の赤い屋根が見えたときは、さすがに肩の力が抜けた。小屋から3時間半、足腰が悲鳴を上げている。お祭りバス停にたどり着いたときには、たまらずへたり込んだ。



初日、図らずも山頂到着が遅れたことで、夕焼けの中に影絵のような富士、満月の下にきらめく街の灯、その美しさに感動する場面に恵まれた。山は日常では得られない何かをいつも与えてくれる。思い出の1ページがまた増えた。同行の皆さま、お世話になりました。